

新

年あけましておめでとございます。町民の皆さまにおかれましては、新たな希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

町長に就任し今年4月で任期の折り返しを迎え、また福智町も合併10周年を迎える節目の年であります。ここに新年を迎え、本町の一層の躍進に全力を尽くす決意を新たにしております。

さて、わが国の経済状況はデフレや不況からの脱却、日本経済再生と財政健全化を目指しておりますが、地方は依然として厳しい状況が続き、財政の停滞は地方の活力をも奪いつつあります。さらに少子高齢化・出生率の低下による人口減少は、50年後のまちの存続にも警鐘を鳴らしています。国が掲げる「まち、ひと、しごと」創生の推進に関しても、期待するところは大きいものの、自主財源の確保が厳しい本町において、人口減少を食い止める施策を早急に打ち出し、推し進めていくことが急務です。

しかし、人口減少だけが自治体消滅の起因ではありません。ふるさと納税やスィーツ大茶会、図書館・歴史資料館の新設やハローワークと連携した「しごと相談窓口」など、福智改革を推める本町のまちづくりにおいて、本当に苦慮すべ

皆

さま、明けましておめでとございます。平成28年の年頭にあたり、福智町議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

福智町は今年3月6日で合併10周年を迎えます。福智町の誕生日にあたる3月6日には、10周年記念式典も予定されており、町民の皆さまにもご参加いただける記念行事を、今から楽しみにしているところです。

私は昨年5月より議長に就任させていただきましたが、新年を迎え改めて職責の重さを痛感し、福智町発展に一層の努力をする決意を新たにしているところであります。

さて、昨年を振り返ってみますと、世界では各地でテロや内戦の暗い報道が多く、国内では、安倍内閣の推める地方創生やマイナンバー制度など大きな話題となりました。また、福智町へ目を向けますと、町政を取り巻く多くの話題の中で、「ふるさと納税」の寄付金額が7億円を超えたこと、ゴミ処理施設建設が田川市郡広域で進みはじめたことなどがありました。

一方福智町議会においては、議員定数を20名から18名とする条例を12月定例会で可決し、次の町議会議員一般選



福智町長 嶋野 勝

きは、まちの前進を阻む「できっこない」という、あきらめ感の蔓延です。

今年の干支は「申」。「三猿」の表現を逆に捉え、「世の中を良く見て、皆さまの言葉をよく聞き、より効果の高い町政を提案・発信」しながら、このまちから「あきらめ感」がサル「年」となるよう、職員一同全力で取り組んでいく所存です。「雇用・定住促進」「地域ブランド化」「小さな拠点づくり」の3本柱を政策の軸に据え、皆さまに「住み続けたい、住んでみたい」と思ってもらえるまちづくりを進めてまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

終わりに、新しい年が皆さまにとって幸多い年になりますよう心よりお祈り申し上げます、新年のあいさつといたします。

拳から適用することとなりました。

我々議会としましては、時代を見据えた情勢分析に力点を置きながら、住民の皆さまの求める効率のよい行政を念頭に、町執行部と互いに知恵を出し合いながら町政運営や監視に努力してまいり所存であります。

また、活力と思いやりのあるより豊かな地域社会が実現するよう全力を尽くしてまいりますので、皆さまのなご一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、新しい年が皆さまにとりまして、実り多き年でありますと共に、皆さまのご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



福智町議会議長 矢野 博文

謹賀新年